

海外の都市構想

Neighbourhood Renewal を中心に

京都大学 出村嘉史

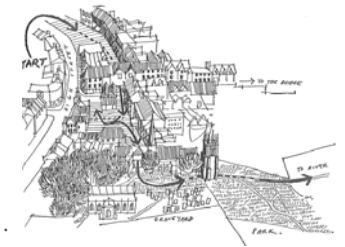
「景域」という考えかた



風景は、パースペクティブ
・・・だけではない

景域： 地域的な広がりがあり、そこに内包される具体的事例の認識と、それら事物の相互間に働く作用、さらにその総和として生成された生態的全体像の動的客体（井出1985）。

- 都市：人の生態的領域
- 歩行者交通を主とした経路。
- Footpath
- 「場所」として捉える。



Neighbourhoods, Communities, Districts...

英国に少し住んできました



Peak District

英国Sheffieldから考える



Sheffield と Peak District



1440km²

Peak District

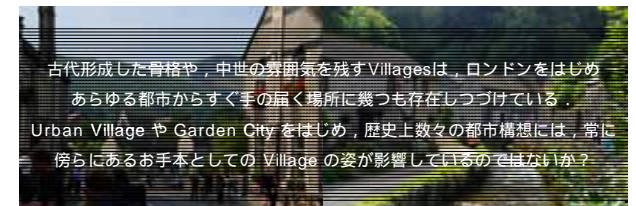


ひたすら歩くことを楽しむ



- 各種、丁寧なフットパスの案内。

Villages



古代形成した骨格や、中世の雰囲気を残すVillagesは、ロンドンをはじめあらゆる都市からすぐ手の届く場所に幾つも存在しつづけている。
Urban Village や Garden City をはじめ、歴史上数々の都市構想には、常に傍らにあるお手本としての Village の姿が影響しているのではないか？

- 周囲を自然・農地に囲まれたVillagesの存在。
- 歩くことを楽しむ人々が絶えない。
- 国内旅行の充実（車交通との連携）

日本の「疲弊する地方都市」を考える上で

- 小売業の衰退，経済の沈滞
- スカスカの中心市街地
- 通過車両によって歩きにくい
- ・
- ・
- 今後どうするかのビジョンが求められている．
(Compact City ?)

- 視点
コミュニティ形成・維持
歩く人の立場
適度な規模

英国において，豊富な実践が
重ねられてきた分野．

産業革命による近代化の光と影

19世紀前半には...

- 蒸気機関による産業の機械化，効率化
- 鉄道による都市間交通の発達

- 手に技を持たない低賃金労働者層の劣悪な住環境

←死活問題になる



篤志家，ユートピア思想家による コミュニティ創造の試み

- 起業家による良質な
住宅環境の提供：

New Lanark, Port Sunlight,
Bournville, Saltaire...

- 共同で土地を持ち
コミュニティ住区を運営：

O'Connorville, Walkley
Freehold Land Societies,
Guild of St. George



New Lanark



- 1812 "New View of Society" Robert Owen
- New Lanark: 1800-1825
- David Daleの紡績工場．クライド川の水力を利用．
- 労働者のハウジングを提供．
- 子供の教育施設，医療（保険），安価な食料，余暇の充実．



Port Sunlight



- 1888 William Leverが建設 クエイカー
- 石鹼工場と隣接する雇用者の住居
- 建築家James Lomax-Simpsonの設計
- 30種程の多様な住宅建築とピクチャレスク景観
- 教会，美術館などの施設
- コミュニティの充実を図る

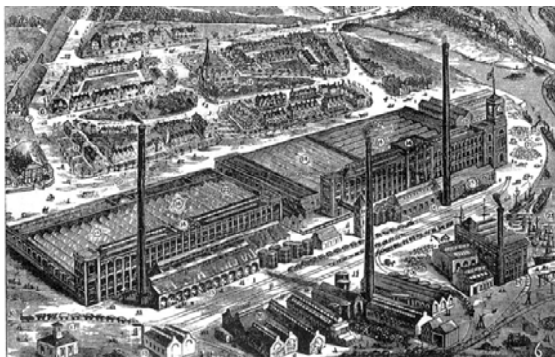
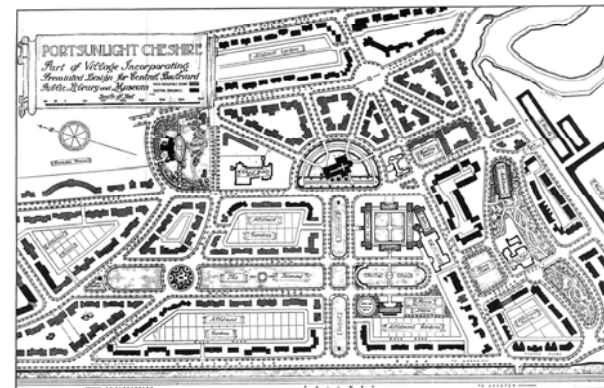


Fig. 12 Bird's-eye view, 1898. In the foreground is the factory: to right, No. 1 Soapery (1888-89, Owen) with its corner belvedere tower and its wharf on Bromborough Pool; to left, extensions to No. 1 Soapery

(1893) and No. 2 Soapery with offices (1895-96, Owen), here shown at maximum later extent and not as existing in 1898. Behind it can be seen the first stage of the village, built 1889-97 around The Dell. Beyond, the incomplete state is apparent, with the perimeter partly built up and the centre still largely open and crossed by tidal creeks. (Illustrated London News, vol. 113, 1898, p. 563, Fig. 6)

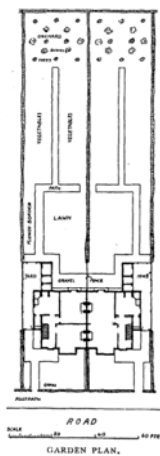
Dell. Beyond, the incomplete state is apparent, with the perimeter partly built up and the centre still largely open and crossed by tidal creeks. (Illustrated London News, vol. 113, 1898, p. 563, Fig. 6)



Bournville



- 1895 George Cadburyが建設．クエイカー教徒．
- チョコレート工場と隣接し，雇用者のための住居．
- 建築家 W. Alexander Harvey によるデザイン．
- 中心を横切る小川周辺は緑地公園．
- コミュニティの充実．



19世紀の試行錯誤

- チャーティスト運動
1838-1848 人民憲章を掲げた労働者階級による権利獲得運動。
有志を募って私有住宅地開発の運動へ。
- ユートピア的实践
理想の社会像についての議論。宗教も影響。
ラスキン モリス、アート・アンド・クラフト運動へ。
- 社会主義運動
新たな思想としてアナキズム、社会主義などが取り込まれる。
労働者階級の生活改善が、社会構造のリフォーム問題とされる。

Garden City Movement



- 1898 “Tomorrow” Ebenezer Howard
- 具体的な新しい都市創造の方法を提示

新都市建設を可能にする経済システム
(開発利益のコミュニティ還元)

協同的社会の実現

循環系を内包したハイテク都市としての都市 田園融合

『「明日の田園都市」への誘い』東秀紀ら

Raymond Unwin & Barry Parker



- 中世のVillageが建築デザイン上の手本。
- 過密に対する嫌悪：1エーカーあたり12戸まで。
- 歩行者専用路などによるNeighbourhood概念。

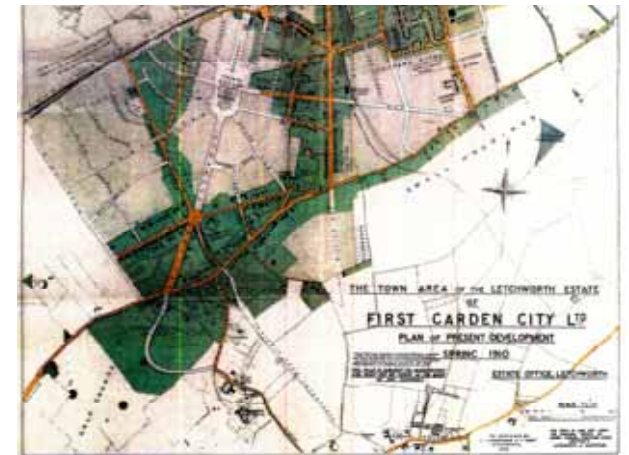


150 "The Garden City Principle applied to Suburbs", 1912. Like Howard before him, Raymond Unwin saw the expansion of the central city by satellite development, separated by "green wedges".

1909 Letchworth

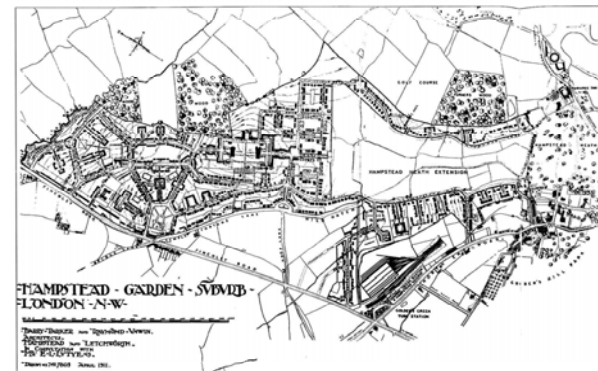


- 第1ガーデンシティ
- Picturesque
- Raymond Unwin と Barry Parker によるデザイン
- Simple Life



1907 Hampstead Garden Suburb

- 1906 ハムステッドガーデンサバーク法(英国ではじめての都市計画立法)
- Henrietta Barnett
ハムステッドヒースの保護
- Raymond Unwin と Barry Parker, Edwin Lutyens
- ガーデンシティからは逸脱



Thomas Sharp



- 1932「Town and Countryside」
- 1946「The Anatomy of the Village」

- 田園都市を「何も生み出さない、愚かな化け物」と批判。
- 「ハワードは、固有の都市的な文明化された特性を保持する農村都市を無視し、都市と農村を合体させた。」
- 中世の都市、伝統的村に理想。近隣計画というアイデア。
- 「街路や街区は、近隣性やコミュニティの感覚の本質を含んでいる。」
- 街路上の歩行者の視界「Townscape」へ。

CIAM（現代建築国際会議）1928



- 1933 アテネ憲章
 - 居住，仕事，交通
- Le Corbusier Vision 「Radiant City」
 - 1エーカーあたり1,200人以上
 - 広い野生のオープンスペースの中に



Neighbourhood, Diversity



- Jane Jacobs
1961 「The Death and Life of Great American Cities」
- City Neighbourhoodは3種のみ。
1)都市全体 2)ストリート 3)ディストリクト
- 都市のために有効なNeighbourhoodの物理的な計画をするならば，次のことを目的とすべきである。

あるNeighbourhoodの中に根を下ろした人々を十分に確保するために，都市にはむしろ可変性と流動性が必要である。

Neighbourhood

Neighbourhood, Diversity

- 都市のストリートやディストリクトにおける，溢れる多様性を創出するには，次の4項目が不可避である．
 1. ディストリクトには，2つ以上の機能をもたせる．
 2. 町の区画は短く，つまりストリートあるいは角を曲がる機会を多くする．
 3. ディストリクトは古く優れた建物を含み，多種建物の混合とする．
 4. 居住を含めて，人々が効果的に集中すること．

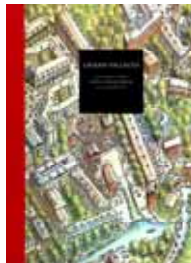
Urban Villages

- チャールズ皇太子 「A Vision of Britain」1989
- The Urban Village Group
- 1992 「Urban Villages Report」

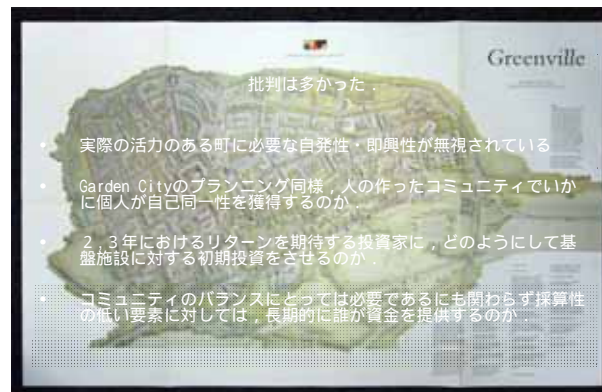
建設家・開発家・投資家・計画家・デザイナー

Greenville: 原理を示す仮想計画

- 適切な規模の開発
- 散策する歩行者のための環境
- 多様な用途混成と雇用機会
- 多様な建築と持続可能な都市形態
- 職住の揃った保有の混合
- 基本的な買い物，健康，教育のニーズへの対策
- ある程度の自足



Urban Villages



批判は多かった．

- 実際の活力のある町に必要な自発性・即興性が無視されている
- Garden Cityのプランニング同様，人の作ったコミュニティでいかに個人が自己同一性を獲得するのが．
- 2，3年におけるリターンを期待する投資家に，どのようにして基盤施設に対する初期投資をさせるのが．
- コミュニティのバランスにとっでは必要であるにも関わらず採算性の低い要素に対しては，長期的に誰が資金を提供するのが．

「The Rio Agreements」 The Earth Summit in 1992

- 「持続可能な開発」sustainable development
- 開発の権利は，現在及び将来の世代の開発及び環境上の必要性を公平に充たすことができるよう行使されなければならない。
- 持続可能な開発を達成するため，環境保護は，開発過程の不可分の部分とならなければならない，それから分離しては考えられないものである。
- すべての国及びすべての国民は，生活水準の格差を減少し，世界の大部分の人々の必要性をより良く充たすため，持続可能な開発に必要な不可欠なものとして，貧困の撲滅という重要な課題において協力しなければならない。

Urban Renaissance

- 無視されてきた町や都市を，活き活きとして魅力的なものとして再び蘇らせる．
- 「Neighbourhood」このプロセスに中心的な役割を担う．
- 職場と店舗と社会的・教育的・余暇的活動などの近接性によって，用途混成や統合された都市近隣（Urban Neighbourhood）が得られる．

「Towards an Urban Renaissance」 1999 Urban Task Force

中心市街地が「変革の推進力」
このプロセスの中心となる主要な要素；

1. the **technological** revolution: centred on IT and the net;
技術革命 ITやインターネット
2. the **ecological** threat: greater understanding of the global implication of mankind's consumption of natural resources and the importance of **sustainable development**; and
生態学的な危機 人類による天然資源の浪費 持続可能な開発
3. the **social** transformation: **changing life patterns** reflecting increasing life expectancy and development of new lifestyle choices.
社会的変化 ライフパタンの変更 新ライフスタイルの選択

New Urbanism 【米】

- 1993 New Urbanismの最初の会議
（アレクサンドリア，バージニア）
- 2002 The Charter of New Urbanism
 - 多様性，歩行者規模，公共空間，構造．
 - Neighbourhood，地域，通路 が中心要素．

Public > Private

New Urbanism 【米】

Traditional Neighbourhood Development Ordinance (TND):

古い都市、町並みや、villagesを参考とした「新しい」指針

- 大きさや形態は、Neighbourhoodの中心から辺縁まで、歩いて5分以内であることから決められる。市街地の70%程度はこの「歩行者圏 (pedestrian shed)」内にあること。
- Neighbourhood内の文化的・社会的施設は、neighbourhood中心に位置すること。その他の文化的建物や地域的に重要な施設や小売店は、境界部に配置し、いくつかのneighbourhoodsで共有すること。
- 学校はneighbourhoodの境界部におき、生徒数が一つのneighbourhoodに限定されないようにする。

(Clarence Perryの「the Neighbourhood Unit」が改良された形か)

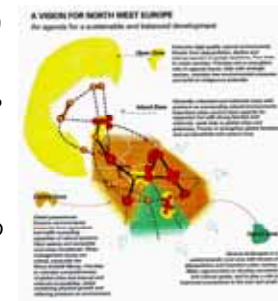
Liveable Neighbourhoods 【豪】

Community Design Code

- 歩ける構造
- 共存する用途混合 (車依存を減らす)
- 十分な雇用、店舗、コミュニティ施設
- 誰でも利用できるサービスと施設へのアクセス

The European Spatial Development Perspective (EDSP) 1999 【欧】

- 田舎における無謀な消費より Urban Renaissance.
- 車ではなく、公共交通による接続。
- 社会的な包含。
- 地域における建築の伝統への敬意。



「Sustainable Urban Neighbourhood」 1999 Architecture Press, Oxford

- 調度よい規模
- コンパクトな形態
- 適切な密度
- 多用な用途・保有の混合
- 十分な雇用
- 余暇とコミュニティのための施設
- 公共交通への便利なアクセス
- 歩行者のための環境

Urban Villages と共通する原則

ほぼ以下の点が目標とされてきた。

- Mixed-use neighbourhoods, 均等な職、サービス、生活機能のできる限りの獲得。
- 公共交通や他のサービスを活性化させる十分な密度の獲得。だいたい1ヘクタールあたり最低でも30人。
- 皆が上質な公共交通へ歩いてまたは自転車で移動できる分散した集中の獲得。そこから高水準の教育や特化したヘルスケアあるいは娯楽へアクセスが可能。

A New Commitment to Neighbourhood Renewal – National Strategy Action Plan 2001

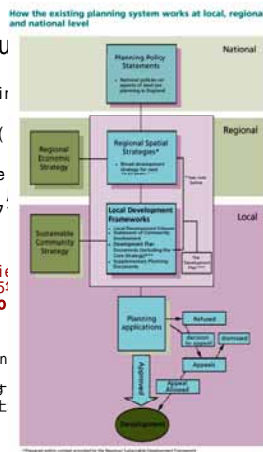
- 10-20年で、誰もが住む場所によって深刻な不利益を被らないようにする。(Neighbourhoodsに対する具体策)
- **2つの明確なゴール**
全ての最も貧しいNeighbourhoodsの、失業と犯罪を減少させ、健康、能力、居住、物理的環境をより向上させる。
最も虐げられたNeighbourhoodsとその他とのギャップを少なくする。
- **不遇な地域への包括的なアプローチ:**
 1. 新たな政策、助成、対象。
 2. 地域における共同の促進、コミュニティの活性化
 3. 国と地方からの支援

A New Commitment to Neighbourhood Renewal – National Strategy Action Plan 2001

1. **新たな政策、助成、対象。**
 - 雇用と企業: 30自治体に雇用支援、企業支援の投資、税改正
 - 犯罪: 警察へ増資、近隣監視、各種犯罪減少策へ投資
 - 教育と技能: 就学促進、Sure Start振興、大人の基本技能策
 - 健康: NHSに増資、不遇地域への医師投入、無料通訳
 - 居住と物理環境: 不良住宅居住者、家屋放棄減少に投資、取壊
2. **地域における共同の促進、コミュニティの活性化**
 - 88の最も不遇な地域を再生させるために投資。これまで誰も問題に対して責任を取ることのなかった点を改善。
 - **Local Strategic Partnerships (LSPs)**
 - **Neighbourhood Management**
3. **国と地方からの支援**
 - 国と地方の連携。地方におけるコミュニティの成長をモニターする。
 - **Neighbourhood Renewal Unit (NRU)** 副首相が議長
 - Neighbourhood Renewal Teams in the Regions
 - Neighbourhood Statistics

Planning Policy Guidance

- the Office of the Deputy Prime Minister
- 用途混合の都市近隣というビジョン(
- National Planning Policy Guidance
コンパクト、多用な居住タイプ、
ティ施設、公共交通へのよいアクセ
混合の開発
- ただし、2006年にODPMは「Communities (DCLG)」となる。また、PPGは、2005'が大きなテーマとされるPlanning Policy Frameworkになる。
- 2008 Planning Act (2007「the Planning Act: A Sustainable Future」)
国、地域、町の各レベルで開発を実行する
将来の主要インフラ改善計画のための土
地利用計画。



PPG, PPS

1. General Policies and Principles
2. Green Belts
3. Housing
4. Industrial, Commercial Development and Small Firms
5. Simplified Planning Zones
6. Town Centres and Retail Developments
7. The Countryside - Environmental Quality and Economic and Social Development
8. Telecommunications
9. Nature Conservation
10. Planning and Waste Management
11. Regional Planning
12. Development Plans
13. Transport
14. Development on Unstable Land
15. Planning and the Historic Environment
16. Archaeology and Planning
17. Planning for Open Space, Sport and Recreation
18. Enforcing Planning Control
19. Outdoor Advertisement Control
20. Coastal Planning
21. Tourism
22. Renewable Energy
23. Planning and Pollution Control
24. Planning and Noise
25. Development and Flood Risk

PPG 1 : General Policy and Principles

- 旧工業都市を再活性化するための Urban Village としてのアプローチ
- 都市域の広い地区において Urban Villages のような上質な用途混成開発のための計画システム。
- 特徴
 - コンパクトであること
 - 利用・居住タイプの混成（手の届く住宅を含む）
 - 十分な雇用，余暇，コミュニティ施設
 - 適切なインフラとサービス
 - 上等なアーバンデザイン
 - 公共広場と緑地へのアクセス
 - 公共交通へのよいアクセス
- ただし，2005年にPlanning Policy Statement 1 (PPS1) に差し替え．内容は，**Sustainable Development**や自然環境との調和，計画への積極的なCommunityの参加などに重点が置かれ，mixed-useは，その実現のための1項目となった．

Visionを描くこと

- 抽象と具体の間
- Urban Village, Compact Cityなど，欧米を主導しているビジョンは，再開発などのUrban Designを処方箋としてきた．
- 物理的環境の創造だけに重点が置かれているわけではない．
- 政府の打ち出すVisionに，部門のAction Planが呼応．
- 根はユートピアを描く方法と同じ．

都市像を議論すること

- わが国の近代にも，随所にVisionは見え隠れするものの，持続性のあるものは少ない．

